



平成27年11月27日

塩谷町長 見形 和久 様

塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会会長 和気

塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会本部役員の退任について



元来、塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会は「塩谷町民」を以て組織され「町民心ひとつ」で「白紙撤回を目指し一致団結」を掲げ各種の活動を展開してきました。

しかし、10月14日（水）第7回同盟会役員全体会の席上「自民党県議団とのコンタクト」が議論になり、その行動が同盟会役員並びに傍聴者から非難され、さらには、本部役員（13名）の存在も非難を受け、今後の会議の在り方にまで言及されました。

更に11月4日（水）第8回同盟会役員全体会の中で、同盟会役員から「本部役員は責任をとれ」との発言があり、その真意を問いたしましたが、「責任をとれ」の一点張りで、同胞から「このような発言」は誠に残念でなりません。また、11月20日（金）町主催の「住民説明会」の議題「その他」の項目で、町民から「同盟会本部役員の非難」「同盟会組織全般の誹謗」等の発言がありました。町では、「その他」の項目で、この発言をどうして受けたのか疑問です。

このような状況を鑑み、これらの事案を重く受け止め、過日緊急本部役員会を開催し結果、私ども本部役員13名が同盟会の職を辞すことが、昨今最良であるとの結論に達しました。

貴会には、今まで私ども本部役員に対し、ご支援ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。

なお、同盟会の組織については、昨年8月上旬に「時間のない状況」での編成であったことは事実なので、今後、同盟会の再編成に対し、反省を踏まえ議会等の機関団体と綿密な協議のうえ、多くの町民の期待に添える同盟会となるよう祈願いたしまして、退任のあいさつといたします。